



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月12日

上場会社名 バルテス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4442 URL <https://www.valtes.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 真史
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 西村 祐一 TEL 06 (6534) 6561
 四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	2,413	5.4	136	46.7	138	53.4	87	41.7
2020年3月期第2四半期	2,290	—	92	—	90	—	61	—

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 86百万円 (40.1%) 2020年3月期第2四半期 61百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	12.60	12.52
2020年3月期第2四半期	9.33	9.24

(注) 当社は、2019年3月期第2四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、2020年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	2,267	1,336	58.9
2020年3月期	2,089	1,246	59.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 1,336百万円 2020年3月期 1,246百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,632	15.5	428	33.3	432	33.8	287	28.3	41.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社 (社名) 株式会社アール・エス・アール
(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	7,150,000株	2020年3月期	7,150,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	230,953株	2020年3月期	234,200株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	6,916,944株	2020年3月期2Q	6,593,657株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

(四半期決算説明会開催について)

当社は、2020年11月19日(木)に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた経済活動自粛などの影響による景気の急速な悪化に伴い、依然として先行きが不透明な状況にあります。当社グループにおきましても新型コロナウイルス感染拡大の防止を最優先に考え、在宅勤務やマスク配布を実施し、またオンライン懇親会補助等従業員のストレス解消を促進する施策を行っております。

当社グループが関連する情報サービス市場は、これまで堅調に推移してきたものの、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりIT投資の先送りなど慎重な動きがみられる企業がある一方で、新型コロナウイルス感染症対策としてリモートワークやクラウド環境の導入、IoT、AI、5Gなどのデジタルトランスフォーメーション(DX)に関連するIT投資を積極的に行う企業も増えてきております。

このような状況の下、当社グループの主力サービスであるソフトウェアテストサービスにおきましては、情報サービス市場の拡大と、様々な情報システムトラブル事例の追い風を受けた企業のソフトウェア品質意識の更なる高まりにより堅調に成長してきております。一方で、エンジニアの不足が顕在化しており、高度なスキルを有するエンジニアの確保が重要な課題となっておりますが、当社グループでは、適性のある業界未経験者を短期間でエンジニアとして戦力化する教育ノウハウと十分な研修体制を有しており、採用と教育とを一体化した戦略によりこの問題を対処してきております。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,413,740千円(前年同期比5.4%増)と堅調に推移いたしました。利益面につきましては、増収となったことに加え、採用費の発生時期が下期にずれ込んだことなどによる販売費及び一般管理費の減少により、営業利益136,312千円(同46.7%増)、経常利益138,372千円(同53.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益87,175千円(同41.7%増)となりました。

各セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

①ソフトウェアテストサービス事業

当事業においては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う案件の先送りなどの影響はありましたが、主にエンタープライズ領域において、新規顧客の増加や既存顧客との取引拡大により、外部顧客に対する売上高は2,237,208千円(前年同期比7.1%増)と堅調に推移しました。利益につきましては、人材採用に係る費用の発生が下期にずれ込んだことや、在宅勤務に伴い移動に係る交通費が減少したことなどにより、セグメント利益は155,885千円(同35.6%増)となりました。

②Web/モバイルアプリ開発サービス事業

当事業においては、セキュリティ・脆弱性診断に係る売上が前期から堅調に推移しているものの、開発案件の規模縮小などにより、外部顧客に対する売上高は174,786千円(前年同期比7.2%減)となりました。利益につきましては、採用費や広告宣伝費の減少などにより、セグメント利益は23,086千円(同35.9%増)となりました。

③オフショアサービス事業

当事業においては、フィリピンにて新型コロナウイルス感染症拡大によるロックダウンが2020年3月中旬より継続されておりますが、在宅勤務環境の整備などに注力した結果、8月以降はほぼ通常通りの営業活動ができる状態にまで回復をいたしました。外部顧客に対する売上高は1,745千円(前年同期比86.9%減)、セグメント損失は4,467千円(前年同期は6,548千円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は1,771,653千円となり、前連結会計年度末に比べ25,547千円増加いたしました。これは主に現金及び預金の増加38,569千円によるものであります。固定資産は495,528千円となり、前連結会計年度末に比べ151,642千円増加いたしました。これは主にのれんの計上などに伴う無形固定資産の増加153,876千円によるものであります。

この結果、総資産は2,267,182千円となり、前連結会計年度末に比べ177,189千円増加いたしました。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は840,104千円となり、前連結会計年度末に比べ8,387千円増加いたしました。固定負債は90,835千円となり、前連結会計年度末に比べ79,193千円増加いたしました。これは主に子会社を新規連結したことに伴う長期借入金の増加80,080千円によるものであります。

この結果、負債合計は930,939千円となり、前連結会計年度末に比べ87,581千円増加いたしました。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は1,336,242千円となり、前連結会計年度末に比べ89,607千円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益87,175千円の計上に伴う利益剰余金の増加によるものであります。

この結果、自己資本比率は58.9%（前連結会計年度末は59.6%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前連結会計年度末より38,509千円増加し1,014,965千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は69,462千円（前年同期比277.8%増）となりました。これは主に仕入債務の減少額46,412千円や法人税等の支払額69,737千円があった一方で、税金等調整前四半期純利益138,372千円を計上したことや、売上債権の減少額81,425千円等があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は49,335千円（同19.2%増）となりました。これは主に無形固定資産の取得による支出76,977千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により得られた資金は18,222千円（同96.7%減）となりました。これは主に長期借入金の返済による支出13,685千円があった一方で、短期借入金の増加34,000千円等があったことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の通期の連結業績予想につきましては、2020年8月12日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	996,456	1,035,025
受取手形及び売掛金	690,857	629,715
電子記録債権	9,255	11,066
仕掛品	6,063	26,751
その他	43,472	69,093
流動資産合計	1,746,105	1,771,653
固定資産		
有形固定資産	119,274	114,357
無形固定資産		
のれん	—	71,197
その他	28,070	110,749
無形固定資産合計	28,070	181,946
投資その他の資産		
繰延税金資産	119,524	116,840
その他	77,017	82,383
投資その他の資産合計	196,541	199,224
固定資産合計	343,886	495,528
資産合計	2,089,992	2,267,182
負債の部		
流動負債		
買掛金	125,755	82,320
短期借入金	94,000	128,000
1年内返済予定の長期借入金	19,935	35,485
未払金	263,541	309,455
未払法人税等	69,880	47,065
賞与引当金	104,070	113,718
受注損失引当金	—	110
その他	154,534	123,948
流動負債合計	831,716	840,104
固定負債		
長期借入金	—	80,080
退職給付に係る負債	—	1,272
その他	11,641	9,483
固定負債合計	11,641	90,835
負債合計	843,357	930,939
純資産の部		
株主資本		
資本金	90,000	90,000
資本剰余金	752,719	755,806
利益剰余金	407,511	494,687
自己株式	△5,292	△5,272
株主資本合計	1,244,938	1,335,221
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	1,696	1,020
その他の包括利益累計額合計	1,696	1,020
純資産合計	1,246,634	1,336,242
負債純資産合計	2,089,992	2,267,182

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	2,290,982	2,413,740
売上原価	1,676,377	1,794,163
売上総利益	614,604	619,576
販売費及び一般管理費	521,704	483,263
営業利益	92,899	136,312
営業外収益		
受取利息	5	8
助成金収入	2,593	1,642
為替差益	—	740
その他	122	582
営業外収益合計	2,721	2,973
営業外費用		
支払利息	561	487
支払保証料	995	426
株式交付費	3,553	—
為替差損	297	—
営業外費用合計	5,408	913
経常利益	90,213	138,372
税金等調整前四半期純利益	90,213	138,372
法人税、住民税及び事業税	23,213	47,066
法人税等調整額	5,486	4,130
法人税等合計	28,699	51,196
四半期純利益	61,513	87,175
親会社株主に帰属する四半期純利益	61,513	87,175

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	61,513	87,175
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	229	△675
その他の包括利益合計	229	△675
四半期包括利益	61,743	86,500
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	61,743	86,500
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	90,213	138,372
減価償却費	13,030	17,227
賞与引当金の増減額(△は減少)	12,394	9,640
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	1,272
受注損失引当金の増減額(△は減少)	—	110
受取利息及び受取配当金	△7	△8
支払利息	561	487
株式交付費	3,553	—
売上債権の増減額(△は増加)	△39,229	81,425
仕掛品の増減額(△は増加)	△2,492	△20,681
仕入債務の増減額(△は減少)	41,407	△46,412
未払金の増減額(△は減少)	△11,360	18,784
未払消費税等の増減額(△は減少)	△11,433	△50,944
その他	△19,570	△9,619
小計	77,065	139,654
利息及び配当金の受取額	8	9
利息の支払額	△559	△464
法人税等の支払額	△58,128	△69,737
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,385	69,462
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△35,459	△7,522
無形固定資産の取得による支出	△2,334	△76,977
敷金及び保証金の差入による支出	△3,652	△4,178
敷金及び保証金の回収による収入	60	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	39,342
投資活動によるキャッシュ・フロー	△41,386	△49,335
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	34,000
長期借入金の返済による支出	△55,961	△13,685
自己株式の処分による収入	603,585	—
その他	△321	△2,092
財務活動によるキャッシュ・フロー	547,303	18,222
現金及び現金同等物に係る換算差額	△74	160
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	524,227	38,509
現金及び現金同等物の期首残高	272,969	976,456
現金及び現金同等物の四半期末残高	797,197	1,014,965

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第2四半期連結会計期間において、株式会社アール・エス・アールの株式の全てを取得したため、連結の範囲に含めております。なお、株式会社アール・エス・アールは当社の特定子会社に該当しております。

みなし取得日を2020年9月30日としており、当第2四半期連結会計期間においては貸借対照表のみ連結しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

当第2四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表の作成にあたっては、新型コロナウイルス感染症の影響が、翌連結会計期間以降徐々に収束へ向かうと仮定し、繰延税金資産の回収可能性の判断等の会計上の見積りを行っております。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の収束が遅延し、想定を超える需要への影響が生じた場合には、当連結会計年度における当社グループの財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ソフトウェア テスト サービス	Web/ モバイル アプリ開発 サービス	オフショア サービス	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,089,293	188,335	13,353	2,290,982	—	2,290,982
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,666	19,968	6,268	30,903	△30,903	—
計	2,093,959	208,304	19,622	2,321,886	△30,903	2,290,982
セグメント利益又は損失 (△)	114,950	16,987	△6,548	125,390	△32,490	92,899

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額△32,490千円は、セグメント間未実現利益の調整額89千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△32,580千円であります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ソフトウェア テスト サービス	Web/ モバイル アプリ開発 サービス	オフショア サービス	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,237,208	174,786	1,745	2,413,740	—	2,413,740
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,440	30,935	12,986	45,362	△45,362	—
計	2,238,648	205,721	14,732	2,459,103	△45,362	2,413,740
セグメント利益又は損失 (△)	155,885	23,086	△4,467	174,504	△38,191	136,312

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額△38,191千円は、セグメント間未実現利益の調整額△4,681千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△33,510千円であります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

当第2四半期連結会計期間において、株式会社アール・エス・アールの株式を取得し、連結の範囲に含めております。当該事象に伴い、前連結会計年度の末日に比べ、Web/モバイルアプリ開発サービスセグメントのセグメント資産が219,036千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第2四半期連結会計期間において、株式会社アール・エス・アールの株式を取得し、連結の範囲に含めております。当該事象に伴い、当第2四半期連結累計期間においてWeb/モバイルアプリ開発サービスセグメントののれんが71,197千円増加しております。